



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

H29年度一般会計決算 市民の暮らしをかえりみず

負担増、サービス削減を推進する市政は認められない

9月30日、日野市議会本会議で、2017年度の市政のあり方について、各会派の意見を表明する「H29年度一般会計決算の認定の件」の採決が行われました。

日本共産党市議団は、①負担増・サービス削減の第五次行革を進めていること、②市民の切実な願いにこたえようとしていな

いこと、③可燃ごみ処理の広域化をめぐって、強引な市政運営を続けていること、以上3つの理由で、日野市政のあり方は認められないと、決算の認定に反対を表明しました。

以下、反対意見の要旨をご紹介します。

負担増・サービス切り捨ての第五次行革

決算が認められない第一の理由は、市民の暮らしを守ることに背を向け、負担増とサービス削減の第五次行革を押し進めている点です。

安倍政権の増税・社会保障削減のもとで、貧困と格差は広がり、市民の暮らしは苦しさを増しています。

そうしたなかで策定された第五次行革とその実施計画は、市民への負担増とサービス削減ばかりが並ぶものとなっています。実施項目は109項目、市民生活のあらゆる分野に及び、これを計画通り実施したら市民の生活は立ち行かなくなってしまう。

市民の切実な願いに背を向ける

第二の理由は、市民の切実な願い、山積する重要課題にこたえようとしない点です。

公共施設や学校の老朽化、ボロボロの道路、学童クラブや公共施設の耐震化、公園

遊具修繕など、市民から切実な要望が出されています。しかし、その改善は遅々として進んでいません。待機児童の解消や大規

（裏面へ続く）

模学童の解消といった課題の解決にも至っていません。

しかし、一般会計は約 29 億 4 千万円もの黒字を出しており、お金がないわけではありません。

市がその気になれば、市民の切実な願いを実現できるにも関わらず、黒字は基金などに積み上げられてしまっているのです。税金は市民のくらし最優先に使うべきです。

ごみ広域化をめぐる強引な市政運営

第3の理由は、可燃ごみ処理の広域化をめぐる強引な市政運営です。

日野市は、北川原公園内にごみ収集車の搬入路を建設しようとしています。公園内に道路を作ることは違法だと、住民から裁判まで起こされています。

また、市が可燃ごみ処理広域化や新焼却炉建設の前に、住民合意の証として必要だとしていた「地元協議会」は、市民・自治会の合意が得られず、いまだに設置することができません。

そこで日野市は、地元協議会の設置目的を「市民の意見を計画に反映させるため」から「報告と意見交換の場」にすりかえ、形だけの協議会を、一部の自治会の参加で立ち上げようとしています。

H32年度稼働という「期限先にありき」で住民を置き去りにし、強引に物事を進める市のやり方は、市民の信頼をなくすだけであり、直ちにやめるべきです。

そして、一旦立ちどまり、市民とともに計画を一から考え直すべきです。

畑だよい・・・

先日の台風で、ネギがなぎ倒されてしまいました

風と翌日の高温のせい、キャベツ、ブロッコリーの苗もいくつかしおれています



議会と長雨のため、のびのびになっていた種まきをやっと終わらせました
ハウレンソウ、ルッコラ、ラディッシュ、カブ、小松菜、春菊、大根葉、ずいぶん欲張って、まいたものです